

緑化通信

2012
6月25日
(年7回25日発行)
第424号



発行所 社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

昭和54年12月7日 第三種郵便物認可

第1回災害復旧樹種 検討委員会の開催

東日本大震災からの復興 に資するため、震災地にお ける海岸林の再生及び公園 緑地の整備や緑地造成等に おける植栽に適した樹種等 について調査する災害復旧 樹種検討委員会が設置さ れ、その第一回の委員会 が、五月八日に日本植木協 会の会議室において開催さ れた。当協会の植島副会長 及び濱野周泰委員長の検 査・検討委員会の設置目 的・経緯等、三月二十七日 に公表された国交省技術指 針の植栽候補樹種及び今後 のスケジュール等について 事務局から説明の後、濱野 委員長が座長となって意見 交換に入った。

東日本大震災からの復興に資するため、震災地における海岸林の再生及び公園緑地の整備や緑地造成における植栽に適した樹種等について調査する災害復旧樹種検討委員会が設置され、その第一回の委員会が、五月八日に日本植木協会の会議室において開催された。当協会の植島副会長及び濱野周泰委員長の検査・検討委員会の設置目的・経緯等、三月二十七日に公表された国交省技術指針の植栽候補樹種及び今後のスケジュール等について事務局から説明の後、濱野委員長が座長となって意見交換に入った。

○植木協会は植木生産者の集団なので、単なる対象樹種のリストを作るにとどまらず、調査対象範囲について
○植木協会は植木生産者の集団なので、単なる対象樹種のリストを作るにとどまらず、調査対象範囲について

○植木協会は植木生産者の集団なので、単なる対象樹種のリストを作るにとどまらず、調査対象範囲について

○植木協会は植木生産者の集団なので、単なる対象樹種のリストを作るにとどまらず、調査対象範囲について

○植木協会は植木生産者の集団なので、単なる対象樹種のリストを作るにとどまらず、調査対象範囲について



東京スカイツリータワー

東京スカイツリータワーの周辺を、東武緑地株式会社様ご協力のもと取材しました。(2、3面に掲載)

度入れるのか。防潮堤等人工物でつくる所もあるが、景観対策としてどうするかという議論も出てくる。

○減災は必要だと思う。いざ大きな災害が来た時に流失する物が少しでも減ればいいと思う。

○園地等を造る時にはどういった樹木がはたして海の影響に耐えられるか、地域の遺伝子が重要ななる。それを調べる現地調査が必要だ。

○内陸に入るに当たって人の生活と密着するから、花のあるものや外来種も使う。個人の庭や公共施設でも緑地をつくる時はそういう嗜好も入ってくる。

○海岸の樹木の生育には、潮風等環境の影響がかなり大きな比重をもつこと及び今回の被災地は福島から岩手までの広範囲だから温度的差の影響と言ってもある。この二つの軸で考えていくべきだ。

○樹木の生育環境で、もう一つ重要なのは土の問題、砂地か土壌か大きな問題でこれを無視できない。

○潮風の影響だが、海岸林の影響も随分出ており、地元の防風林の早期造成を望んでいる。

○防風林の意味を、ただ、潮風を防ぐと言っただけでなく、生活上の影響も含め何のために防ぐのかというようにもコメントしなければならぬ。

○海岸防風林の造成については、県とか国に任せておいて、それ以外の癒しの部分とかランドスケープや造園という部分では、植木協会、日造協、コンサル協会等と一緒にやってやるような話になればよい。

○最近のデータベースの活用は、相当なものが出てくることになっており、キーワードで検索すれば、樹種が出てくるだけでなく、写真や用途も出てくるという。

○新たな検索システムを作らなくて、ネット上で検索出来るというやり方で、そのくらい使い勝手のいいものを先ずつくるのが求められているのではないかと。

○役に立つかどうかにかかわらず、全てリストに上げて、それを検索するに役立つかどうかを言うイメージで、情報を欲しい人が検索のキーワードを重ねていくと、ネット上で何項目かがヒットするとい

る。最後に、委員長が、この調査の方向性について、東北地方の供給可能量を含めた樹種のデータとすること。それをベースとして、潮風の要因、寒さの要因、土の保全等について極端な差異があるなど環境に対する適応性のデータについても追加し、かつポケットをつくらせておいて、今後、少しずつ、解明された段階でも追加出来るようにしたいこと。公表は、ペーパーでもいいが、できればインターネットに載せて、そこで検索して貰えるようにしたいこと。単なる情報発信ではなくて、関係者の方々に情報を共有していただくことが目的と思うので、その方向でまとめていきたいと締めくくった。

そこで、データをつくる場合に、ただ、海岸からの距離や緯度的に何度までと言っただけでなく、分布の限界地域での生育環境について、何故そこで育っているかの条件を見抜く調査をして欲しいとの要望もあった。

なお、今回は、八月二十日・二十一日の二泊三日で現地検討することとし、協会の地域性委員会のメンバーも一緒に参加することになった。

環境緑化樹木識別検定 資格認定委員会開催



五月九日(水)十六時より植木協会会議室にて二十四年度第一回環境緑化樹木識別検定資格認定委員会が開催された。

出席者は、浦井史郎委員長、濱野周泰副委員長、井上花子、高梨雅明、高橋一輔、湯浅浩史、野尻第一、三上常夫の各委員とオファサーバー川原田邦彦、小林公成、立石凱義各氏と事務局。浦井委員長の挨拶後、議事に入る。

1 環境緑化樹木識別検定試験実施について
今年度は試験会場を東京(募集案内は4面)



インタビューシリーズ

スカイツリータウン施工管理

～大切な植木と大きな期待を受け止めて～

東武緑地株式会社 造園工事部 課長 小川 将史 さん



目指した風景は 北関東と東京の下町

東武緑地株式会社では、五月二十二日にグランドオープンした東京スカイツリータウン(以下、タウン)及び周辺の再開発に伴う緑化工事を担当させていただきました。

タウンの四・五階の植栽は、施主である東武鉄道の本線運行エリアの北関東の風景をモデルとしています。また東から西に向かって、アカマツ林等の山裾風景から果樹園や農地へと、植物と人との関わりが深まっていく様子を表現しています。一方で二階は、商店街が江戸の下町風にレイアウトされており、路地裏園芸のようなコンパクトなまとめ方を心がけています。さらに四・五階と二階の植栽は、高低差も意識しています。分りやすい例では、同じサクラでも四階にはヤマザクラ、二階はサトザクラ系を多く使用していますし、「ハナミズキ」には、水の流れをイメージさせるように地被植物がレイアウトされています(マップ、写真参照)。

設計サイドとイメージを共有し二人三脚で施工

私たちは約三年前から準備を始め、昨年の六月から今年二月にかけて施工を行っています。設計・監理は日建設です。

最初に行ったのは、設計コンセプトを設計側と共有することでした。コンセプトシートを読ませ

ていただき、目指す風景について出来る限り話し合いました。特に今回は、事業主である東武鉄道が日建設に施工監理まで任せており、施工

側からの問いかけに対する反応がダイレクトにいたため、設計と施工が二人三脚のような感じで、スムーズに仕事を進めることができました。

私たちは、設計側が目指すイメージを出来る限り忠実に具現化するのが仕事です。一方で施工後のメンテナンス性も考える必要があります。施工後に簡単に枯れたり倒れたりしてしまうようでは、複合商業施設としては問題がありますし、結果としてせっかくつくった風景も壊れてしまいます。これらの二つの立場から、実施設計に近い部分でいろいろと提案もさせていただきました。

例えば一階のカツラ並木は、通常の列植えではなく少し前後にずらして植えられています。そのことで、より多くの木があるように見える配置となっていたのですが、「それならばカツラの林を目指そう」と設計と話し合い、向きや植える順序にもこだわった植栽を行い、表現させています。

イメージにこだわり 徹底的に材検

今回の物件では、周辺再開発も含めると、高木は約三十種約五百本、中低木は約百五十種約四万二千株。地被類は約百六十種十四万ポット。芝生やマット物は五種約2000㎡を使用しています。

材料調達としては、まずは北関東の風景や江戸下町といった日本の風景を目指すと、いう大きなテーマにより、ほぼ日本産で設計されました。(中低木や地衣類は、一部園芸品種も使用)。その上で、高木ならば8m前後、中木は4m、低木も50〜80cmと、全体に大き目のが多かったのが特徴です。

植木調達の段階で心がけたのは、なるべく現物を見に行くことです。特に高木は全て現地材検しており、ここまで徹底的に材料を見た物件は初めてでした。それだけイメージの実現にこだわったということですが、写真だけではその木の持つ雰囲気や設計側に伝わらないので、まずは現地を確認して説明して検討し、そ

れを五〜六回繰り返すといったことが何度もありました。一方で、これだけニュースになるような物件ですから、調達先の生産者さんにも気を使いました。期待させておいてガッカリさせることがないように、これで間違いなくOKと確認できるまで物件名を明かさずに畑をまわった事もありました。逆に最初から物件名を明かして、「あれは分かってるんだから、秘蔵のあれを出さない」ということもありました(笑)。

今後は根鉢サイズの伝達などに改善が必要

成長の遅いローメンテナンスな木が求められている傾向は依然としてありますが、最近では管理運営の問題以外に「他にはない何か」、つまりは個性も求められており、私たち施工側や生産者側からの提案も少しずつ増えているように感じます。そういう意味でも、今回の物件を手がけることで強く感じたのは、計画や設計、施工、管理、植木生産や流通がチームとなり、イメージを共有することの大切さです。ですから生産者の皆さんもぜひ、コンセプトシートや図面を取り寄せ、読んでみてください。ただ注文をこなすのではなく、その木にどういう意味があるのかをイメージしてほしいのです。その上で、「この樹種のほうがイメージに合う」「これは片持ちの木がよい」といった提案をしていただければ、より良い仕事になっていくはずですよ。

また、物流も含めた慣行的な方法には、改善が必要なものもあると思います。私が特に問題だと思っているのは、根鉢の寸法です。

現在の都市緑化は地下支柱が全盛ですが、これは地上支柱のように木に合わせることができません。話題になった爆弾低気圧など、昔では信じられないような強い風が吹くようになっていきましたから、植木をしっかりと立たせておくためには、根鉢の寸法と地下支柱の大きさを合わせる必要があるのです。ところが、到着した植木の根鉢が事前に聞いていた寸法より10cm大きい、小さいといったことがあります。今後は、それが致命傷になりかねません。また特に都市での施工ではクレーン車などを使って木を飛ばしますが、根鉢が聞いていたよりも大きく想定より重い場合には、それが出来なくなってしまう。もちろん掘ってみないと分からないこともあるでしょうが、それならば掘った段階で正確な寸法をあらためてご連絡いただきたいのです。そのことで無駄な検討や労力が必要なくなれば、結果的にコスト低減にもつながるでしょう。

こういった技術的な問題は、業界全体で検討することでクリアできるはずですが、その上で、生産者の皆さんや私たち施工者を含めたチームが同じイメージを持って役割を果たせるようになれば、より素晴らしい風景を、もっと自由に、もっと簡単に、そして安くつくることができるのではないのでしょうか。

庭園樹部会は、四月十二日(日)兵庫東加東市に平成二十二年に建立された念仏宗無量壽寺の視察研修会を開催しました。研修会当日は、前日から宿泊した十七人と、当日参加の六人の計二十三人が九時四十分は無量壽寺に着き、午前十時からの団体説明に臨んだ。研修当日は、前夜の雨も上がって絶好の日和のなかを、組み分けされた他グループを含めた三十名程度の団体として、当山僧侶の概要説明を伺いながら視察研修に臨んだ。当山は七年の歳月と、延べ三百五十万人の力を結集し、山合いの五十五万坪の平地に総門、南門、北門、山門の四門を配し、地藏堂、聖徳太子堂、五重塔、鐘楼二樓、本堂、釈迦堂、観音堂、経蔵等十五の建立物の他、彫刻が一万五千四百十二点、彫金が三十七万四千五百点以上とそのスケールと大きさに圧倒された。見学者門を入り奈良の若草山を想わせ、折から満開

庭園樹部会

兵庫県無量壽寺を視察



京都嵐山の渡目橋を模した橋

内部視察を終え、本堂側面から見れば、高さ九メートル幅八・八メートルの大きなさで右手前にある石灯籠の高さ十二メートル共々ギネス世界記録に認定された大きさ(一

同改めて感動した。その後、数々のモミジ類が植栽された見学路をとおる、日本庭園に向かい全国から集められた数々の樹木を前に、参加者は懇話にふけた。一説によれば、植樹された樹木類は、前述の樹種他、キリシマツツジ一万本超、その他ツツジ類二十万本、モミジ三千本、サクラ類七千本、キタヤマダイスギ千本超、シャクナゲ二万二千本が広大な面積に配置長く植栽され、この視察の説明役同行した僧侶の流暢な解説に感心するところも、十時スタートして、説明が終了した十三時までにお付き合いいただいた僧侶に感謝するとともに、今回の視察ははじめから終りまでその規模・大きさに圧倒され一見の価値が有る視察研修会であった。一行は視察終了後、寺院隣接のレストランで遅めの昼食を採り、十四時に食堂を出発して十五時新神戸にて解散した。



ツリー脇をクレーンで移動する樹木



地下支柱

スカイツリータウンの緑たち



☆4 スカイアリーナ施工風景
スカイアリーナは緊急時の避難場所として想定されている。ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、アオハダ、オオモミジなどが、数本ずつの群となって植栽されている



☆5 カエデ苗9種類(イタヤカエデ、ハチワカエデ、オオモミジ、ハナノキ、トウカエデ、ウリハダカエデ、メグスリノキ、コミネカエデ、イロハモミジ)の混植



☆6 タウン4階西端の果樹園、右手奥は畑がある



☆7 水の流れをイメージさせる地被植物のレイアウト



- ① ソラミヅひらば
- ② ソラミヅ
- ③ スカイアリーナ
- ④ ファームガーデン
- ⑤ ハナミヅ
- ⑥ ハナミヅひらば
- ⑦ ソラマチひらば

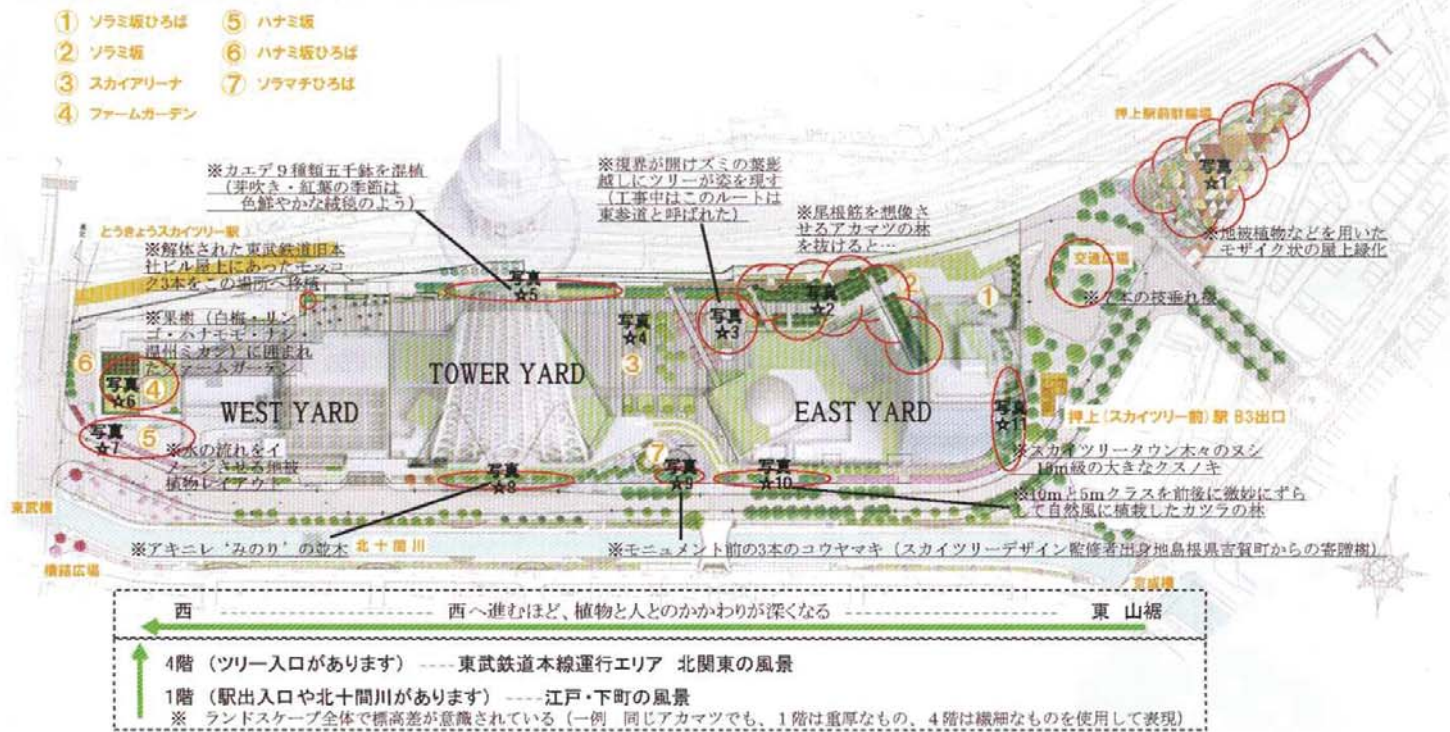


☆2 尾根筋を想像させるアカマツの林

☆3 アカマツの林を抜けた後、空が開けてスミの葉越しにスカイツリーが登場する



☆1 押上駅前駐輪場
地被植物などを用いたモザイク状の屋上緑化が面白い
駐輪場屋上はスカイツリー記念撮影スポット



☆8 アキニレ「みのり」並木



☆9 スカイツリーデザイン監修者、彫刻家 澁川萬一氏によるモニュメントと同氏の出身地から寄贈されたコウヤマキ



☆10 カツラの林



☆11 タウン木々の主(めい)大クスノキ施工風景



毎回1万人以上で賑わう徳島マルシェ

私の任んでいる徳島県は年間を通じて暖かい気候、吉野川やその支流を東西にまたいだ大きな川があり、一次産業の盛んな地域でもあります。

この恵まれた自然の中で、農産物・海産物の生産量も高く、スタチや全国ブランドの阿波尾鶏、鳴門金時が有名です。そして四百年の歴史がある阿波踊りは全国各地から百三十万人の人出で賑わいます。

そんな徳島も不景気、人口減少の波に襲われているのが現状です。町の中心部の商店街や、人口の空洞化など問題も山積みな状況です。

そんな中面白い取り組みが、徳島の市内中心部のリバーサイドで行われている徳島マルシェです。これはヨーロッパの朝市の発想から生まれた企画で、厳選された野菜や果物を生産している農家や、加工業者のお店が立ち並んでいます。月一回最終の日曜日に開催され、また埋もれていると感じます。

これからは発信する時代です。今までの世の中は情報を受信する時代でしたが、これからは発信する時代。情報を発信しなければ、情報を受信されません。ここを突破する事で、商品の共感を生み出さなければなりません。ターゲットに繋がっていき、農業と同じように、われわれの業界もこの発信力は比較的苦手な業界だと思えます。ですがこの壁を突破する事によって、新たなビジネスチャンスがまた広がると感じます。

後、徳島といえば、皆さんご存知の上勝町の佃いりどりです。この秋になると、いりどりビジネスが映画化されます。農家さん、またまた原料のモミジ等の植え込みをどんどんされるほど町が活性化していきま。このビジネスも発信力の力の凄さを感じます。最後になりますがこれから必要なのは経営者として、成長が必須事項だと思います。私事ではありますが、昨年からは経済団体の勉強会に積極的に参加しております。そこでは、経営者としての根幹になるような部分を学びます。例えば、何のために経営しているのか？あなたの会社の強み弱みは何ですか？経営理念、方針、計画を決め経営指針書を作成します。

経営者としての覚悟がどの程度あるかや、社員との関係性であり、自社の社会的責任まで問われます。普段考えないような事を日々考える事で自問自答をし、自分が厳しい環境に身を置く事が成長に繋がります。これからの時代の変化に対応し自分自身、成長をして行きたいと思えます。

部会だより

「これからの未来へ」

青年部会 中国・四国ブロック 高橋 誠
(高橋魁春園・徳島県)

年間特集

生物多様性を考える

第3回

森づくりと生物多様性～豊かに生き延びるために～

自然に近い森づくりに学ぶ 「環境教育への展開」

近自然森づくり研究会会長 北海道工業大学大学院教授 岡村俊邦氏



前回は、自然に近い森づくりとして、火山の噴火や山崩れで壊された森が自然に再生する過程の観察から開発した森づくりの方法である「生態学的混播・混植法」について説明しました。この方法は、目標の設定・種子の採種・苗の養成・植栽・記録・追跡調査・評価の全体を統一したシステムとして組み込んでおり、森づくりに関する総合的な理解を得ることができ、環境教育として有効であることがわかりました。このため、多くの小中学校で環境教育として取り入れられています。今回は、その中の二つの活動を紹介します。

「緑のネットワーク運動」

「緑のネットワーク運動」は、札幌市南区にある東海大学付属第四高等学校中等部の一年から三年までの全学年が一九

九八年から十年間取り組んだ植樹活動です。この活動では、まず、一年生に対して植樹の目的が生態系ネットワークの形成と水源涵養であることから、目標とする樹種は在来種の混交林であることを説明しました。その後、学年毎に次のような活動を行い、三年間かけて森づくりの過程を体験できるプログラムを組みました。

①一年生の種子採取と播種

一年生は、結実する樹種が多い秋に、隣接する北海道東海大学(現東海大学札幌キャンパス)のキャンパス内にある自然林で班に分かれて種子を採取し、それを中等部を持ち帰り、同定と精選を行います。前回は「生態学的混播・混植法」に基づき播種を行いました。

②二年生の水やりとポットへの移植

秋に播種した種子が冬を越し、春を迎えると、一年生も二年に進級します。二

年生は、自分たちが播いたタネに当番で灌水しながら発芽成長するのを観察します。また、秋になると5cm程度に成長した実生を径9cmのビニールポットに三つ五本ずつ移植する作業をします。この間、播いたタネが発芽しないものも多く、また、灌水不足で乾燥枯死する苗が出ます。発芽しない発芽床や発芽後枯れた実生を観察し、その原因として、種子の良否が年により異なること、また、灌水を怠り1度死ぬと生物はリセットしても(後から水をかけても)蘇らないことを実感させました。

「緑はどうなった授業」

北海道の有珠山は、ほぼ三十年間隔で噴火する活動的な火山として知られ、最近の噴火は、二〇〇〇年三月三十一日から始まり、噴火が終息した二〇〇四年五月二十四日、洞爺湖温泉小学校において最初の授業を実施しました。

③三年生の植樹と植栽観察

三年生になると自分たちで種子を採り、播種して水をやり、ポットに移植した苗をいよいよ植樹する段階です。植樹地は、札幌市の水櫃である定山溪ダム湖の湖畔です。この湖畔は、ダム堤体を使うコンクリート用骨材の質の悪い原石を埋め立てたところです。ここでは、工事後、カラマツ等の一般的な植樹が行われましたが、うまく育たず、「生態学的混播・混植法」の出番になったところです。約4haの面積があり、そこを十等分し、十年かけて毎年植樹しました。二〇〇七年で植樹が完了し、現在は想定通りの樹林形成と遷移が進行するのを観察する段階です。一九九八年当時植樹したところでは、ケヤマハンノキやシラカンバなどの先駆性の陽樹が上層を形成し、ミズナラやハルニレが中層にみられる自然林の成立過程に近い遷移が進行しています。



自然林再生試験地

この地区は、市内の中学生の協力により自然林再生を目標に、10年計画で植樹を行っています。



国土交通省 豊平川ダム統合管理事務所 TEL(011)583-8110 FAX(011)583-1703

札幌市の水櫃である定山溪ダムのダム湖湖畔の自然林再生試験地



タネから育てた苗の植樹とその記録をする中学3年生



自分たちで種蒔きして育てた苗のビニールポットへの移植

そこで、活動期と休止期を通して火山との共生をどう考えるかという点に伝える内容を検討しました。活動の休止期の緑豊かな森は、噴火を契機に自然に造られたものであり、活動期の破壊された森は、新たな森の出現の出発点であること伝えました。火山の近くに暮らす人間は、噴火も含めた火山の活動の恵みを受けており、活動期においては、噴火はマイナス面だけをもちたらずものではないことを思い起こす必要があること、逆に、休止期においては、穏やかな火山も突然噴火し、人の生命財産を傷つける自然の猛威としての大きなマイナス面を持つことを思い起こす必要があることを子供たちに伝えました。そして、火山の緑の復活は、生物多様性の保全の観点から、基本的に自然に任せるべきですが、火山砂防等の人為的影響で自然の復活がなされないところや、侵略的な外来種が繁殖しそうな市街地の周辺は、人の手を貸す必要があることを説明しました。

お知らせ

「第6回環境緑化樹木識別検定」試験の受験者募集

環境緑化樹木識別検定 資格認定委員会 委員長 涌井史郎

従日本植木協会を事務窓口、広く社会に認知される資格として「環境緑化樹木識別検定」を創設し、樹木に関する知識の基礎を広めるよう努めています。今年も第6回「環境緑化樹木識別検定」試験を下記のように実施し、受験者を募集しますので奮ってご参加ください。なお今年の試験会場は2ヶ所(東京都・愛知県)で実施致しますが、今年度中に2ヶ所の重複受験は受付致しません。なお受験申込は6月30日までとし、先着順で定員になり次第締切りとさせていただきます。

記

「環境緑化樹木識別検定」試験

費用：9,000円(学生は4,000円) 定員：各会場とも50名(先着順)

東京会場 日時：平成24年7月7日(日) 13時集合
場所：試験会場：東京農業大学 1号館 331教室
東京都世田谷区桜丘1-1-1(〒156-8502)
・JR 渋谷駅西口バス(渋23.24.26系統、約30~40分) 農大前下車
・小田急線 経堂駅下車 南へ(農大通り) 徒歩約15分

愛知県会場 日時：平成24年7月21日(日) 13時集合
場所：試験会場：愛知県植木センター 会議室
愛知県稲沢市堀之内町花ノ木129(〒492-8405)
・名鉄 国府宮駅から バス又は7タクシーで15分

この学校は、全校で六十人程度の小規模な学校であるため、全校の生徒が学年を跨いだ班をつくり、現在も班単位で春と秋の二回の活動に参加しています。

①春の活動
春は、自分たちがタネから育てた苗を近くの砂防施設の周りで植栽し、記録を付けます。上級生は一年生の時から経験しているため、慣れた下級生を優しく指導しています。そして、以前に自分が植えたところを観察し、活動の成果を実感します。

②秋の活動
秋の活動では、まず、学校で先に述べたこの活動の意味を説明します。その後、「宝物探し」と名付けた自然林の豊かさを体験する活動を行います。同時に、湖畔で樹木の種子を採取し、学校を持ち帰ります。その後、種子の同定、精選、播種を行い、また、以前に播種して生長した実生をビニールポットに移す作業をします。最後に「宝物探し」で見つけた宝物の発表会を班毎に行います。

以上のように、「生態学的混播・混植法」を利用した環境教育としての植樹活動は、ただ用意された苗木を植えるだけというのではなく、目標の設定・種子の採種・苗の養成・植栽・記録・追跡調査・評価の一連の活動を通して、自然と人間の関わりを学べるものになっています。



洞爺湖の湖畔林で見つけた宝物

私の経験

花のオーブンガーデンと ガーデンショー花盛り



東京農業大学名誉教授 進士 五十八

国民的趣味・花の発現—— 女性パワー

日本の造園では、あくまで樹木が中心であった。緑のポリュームからいって、大きな風景の地、背景を成す上でも、そして時間、歴史の落ちつき感を醸成する上でも、何んといつても樹木であり樹林、森林、山の意味は大きく、庭園であれ公園緑地であれ、都市や風景であれ、基本中の基本は、木であった。

ただそれだけでは、色どりや彩やかさに欠ける。アクセントとして、花の出番である。札幌の大通り公園や横浜公園、山下公園などでは昔から花壇コンクールがおこなわれてきた。日比谷公園に初まる「洋花」のアピール狙いも背景にあったろうが、花は芝生を背景に華やかな主役となった。

ただ洋花はモンスーン気候の下、花持ちが悪く単価も高かったため、公共空間で活用されるようになるのは一九九〇年大阪の花博以後である。もちろん種子から播いて荒んだ町を花でい



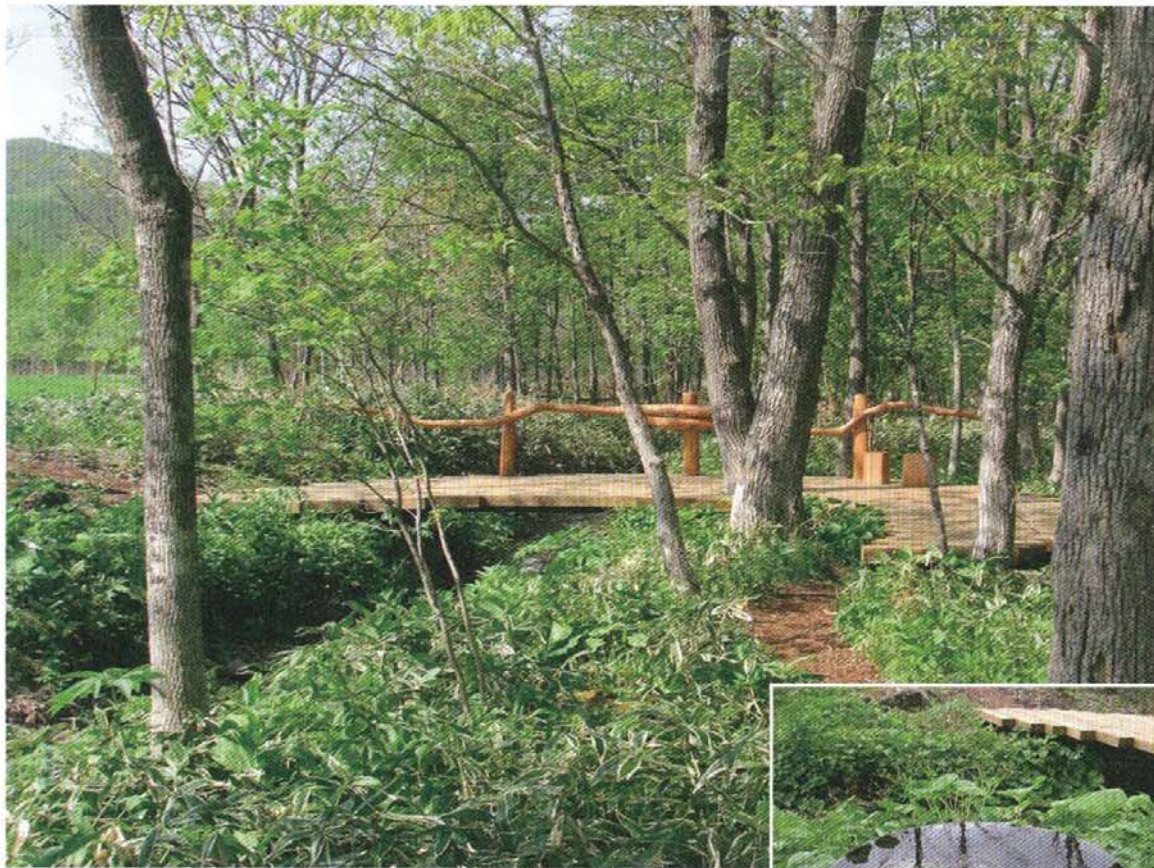
「第14回 国際バラとガーデニングショウ(西武ドーム) コンテストガーデン部門A部門優秀賞 相模庭苑株式会社・三井宣太郎デザイン作品 「わんぱく Kidsのキノコの庭〜豊かな成長を願って〜」

私が市役所まちづくり研究会に依頼されて講演に行き、「恵庭は文字通り「ガーデンシティ」だからクラ イストチャーチのような花のまちづくりを」と提唱したのも花博の年。これ以後、恵庭、深谷、三田、小布施など主婦パワーのオーブンガーデンは全国区に成長する。彼女たちはアマからセミプロへ、やがて入園料をとれる「ガーデン」づくりへ、また「ガーデンショウ作品」のプロデザイナー群の輩出へと向う。

NHK教育テレビの「趣味の園芸」の放送開始(一九六七)で、日本人の国民的趣味の「園芸」へのDNAが大きく発現し、花栽培は「ガーデニング」ブームに育ち、主婦パワーはやがて「オーブンガーデン」へと連帯し二十一世紀初頭の社会現象となっていく。

国際バラとガーデニングショウと 北海道ガーデンショー

所沢の西武ドームを会場に五月の恒例行事として「国際バラとガーデニングショウ」が始まったのは一九九九年のこと。来年二〇一三年で十五回になる。私は企画当初から企画、ガーデニング部門の審査委員長を続けている。主催は毎日新聞社、NHKほかで、テレビ放送が武器か。約一週間



北海道ガーデンショー① 招待作家 ダン・ピアソン作品 デザイナーズガーデンのひとつ、素晴らしい雄大な自然・環境を体感できる。橋上立つと日高山脈が見え、この作品のために創作した水盤は大きな空を映す。



の会期、入場料二〇〇〇円で今年の第十四回は約二十四万名も。アマチュアの出展者が出やすいようにと敷地サイズを三通り(六、二、二四m)とし、毎年テーマを掲げて公募してきた。当初、会場や資金を考えると四、五〇区画の作品が埋るか心配したが、出展者数も作品の質も安定し向上して

床の仮設ガーデンでは、おそらくエコとカリサイクル問題等社会性に富んだ、或いはデザイン面で発想法に富んだユニーク作品が多いであろう、と予測していたが結果は全く違った。地盤面に変化をもたせて、かなりの樹木を入れ、エイジングの美を醸成するようなテクニクを駆使して、実にナチュラルな、また懐かしさや原風景性をくすぐるような「癒しの庭」や「キッチンガーデン」が創られる。都会人が、いかに「やさしさ」を求めているか。その切迫感がわかる。

ともあれわずかな施工時間で、これだけ場所と時間に馴じて見せることが出来る技術力は凄い。どれほどの事前準備をしているのか、と作家の皆さんの持続的情熱に頭が下がる。その水準の高さを高く評価したい。この西武ドームとは全く正反対の「十勝千年の森」を会場とする「北海道ガーデンショー」が、二〇一二年六月二日から十月八日まで開かれている。私も昨年のコンペ審査会から特別顧問として参加させてもらっている。ドーム巨體分にか

か、四〇〇ヘクタールの自然豊かな会場とい、春夏秋の四季にまたがる四ヵ月余の会期とい、周囲の山々や牧場と視覚的に連続する自然林の広がり、これまた清らかな自然水の流れる小川の音と小鳥のさえずりが聞える敷地に、ガーデンサイトを。選べるのは、出展者も観賞者も何んと幸せなことだろう。北海道ガーデンショーは、十勝千年の森計画を立て

2012年、北海道、十勝。大地が、庭に、恋をした。 HOKKAIDO GARDEN SHOW 北海道ガーデンショー 会期: 2012年6月2日・10月8日 会場: 十勝千年の森[北海道清水町] www.hgs.co.jp

進士五十八氏が特別顧問を務める北海道ガーデンショー(帯広十勝空港)の会期は10月8日まで

然や環境に開眼してほしい。技巧的にならざるを得ない内向きガーデンだけでなく、来訪者をして場所のイメージだ。橋に立つには雄大な山脈が見え、橋はその両方をつなぐ。そこに大きな水盤、空が水面に映し出される。どんなにかすばらしい環境に立っていることを体験するだろう。多くのガーデンは内向きだが、私の作品は外向き。もっと大きな外の

家した造園家高野文彰氏のディレクションで、招待作家中谷歌一郎、白井温紀、竹谷仁志、ダン・ピアソン、長澤伸徳の五氏によるデザイナーズガーデンと、「恋の庭」山羊の遊びの庭をテーマとした八つの公算作、コンペティションガーデン、そして既につくられている「アースガーデン(大地の庭、ダンピアソンによるアースワーク)」「フォレストガーデン(森の庭、高野文彰デザイン)」「メドウガーデン(野の花の庭、ダンほか)」「ファームガーデン(農の庭、ダン、高野ら)の四つのテーマガーデンで構成されている。元来「十勝千年の森」は、十勝毎日新聞社の林社主の高い志によっている。人の寿命を単位に目の前の事象に捉われて判断する現代的思考を反省、千年の単位で自然共生に向うべくカーボン・オフセットをスタート。「森・庭・農・アート」を手段として未来に大地を継承しようというのである。

うえき・よろず相談

【質問】「梅雨明け後、ハナミズキ等落葉樹の葉焼けが目立ちます。綺麗に保つために何か良い方法はありませんか？」

【回答】
 落葉広葉樹の葉焼け、葉の異常には土壌の物理性と土壌の化学性、根系が大きく関係している。ハナミズキフロリダ種には多くの発表品種があり品種ごとに症状が異なる。4月中旬になると総苞が開き集合花が開花する。新葉は開花するころ展開する。新葉が展開する5月には①とうそう病が発生して葉縁が褐変する。②褐斑病等が発生すると葉に褐斑点が発生する。被害が進むと葉が十分な大きさに展開しなくなり新梢の伸長が阻害される。この被害はスポット的に発生する。5月下旬に入り日中の気温が25度以上になり空中湿度が高くなると③ウドンコ病が発生しやすくなる。ウドンコ病が蔓延すると葉全体が白い粉をまぶした様になり樹勢が衰え生育が鈍化する。被害が進むと葉が十分に展開しなくなり葉縁が褐変して落下したりチェロキチーフでは④枝の黒枯病へと被害が進み先端部からの枯れ下がりを引き起こす場合がある。病気以外には⑤窒素の過不足による葉の黄化、生育鈍化、枯れ枝の発生がある。⑥土壌の不透過層の介在による根腐れと乾燥による葉の黄化、褐変、枯れ枝の発生。⑦植栽後の発根不良が原因の根からの水分供給不足による葉の黄化、褐変、枯れ下がり。⑧春先の掘り取った樹木を一定期間、横にしたり、乾燥させたり、幹に直接太陽光が当たり皮焼け症状が発生した樹木。⑨薬剤散布による葉害により葉縁の褐変葉の落下。⑩オオミズアオ、イラガ、アメリカシロヒトリの幼虫による葉の食害による被害等。⑪強風による葉の擦れ。⑫夏季のやや強い剪定による葉焼けと枝の皮焼けの発生が原因として考えられる。

対策としては①、②、③、④は殺菌剤の散布による予防と防除を行う。⑤は施肥により適正な土壌の窒素量に変える。⑥は周囲の土壌の深耕攪拌、排水の改良⑦乾燥時の灌水。⑧は木質部に着色材、腐朽剤が残り治癒しても幹が太いと心円成長せずに変形成長する。⑨は自然回復を待つ。⑩は殺虫剤による防除⑪は自然回復を待つ。ハナミズキを始め多くの品種に共通することは品種の特性により被害の度合いが異なること。品種の特性を知り早めの対策、処置で個体の成長と樹勢が保たれる。落葉広葉樹の盆栽は樹勢、樹形の維持の為に毎年、紅葉後の休眠期に鉢から根を外して土を崩し、周囲の根を切り詰めて植え替えて新しい根を出して樹勢を保たせている。コンテナ栽培樹木は一定期間を過ぎると新梢の成長が鈍化して細くなり葉の矮小化と葉の黄化が始まる。原因は根のサークリングが進み細根の発生が劣り、目詰まりが進み、透水性が低下する。サークリングが原因で幹の根元を巻くと根の絞殺となる割合が高くなる。鉢替えを行い適切な管理が植栽後の生育に開きが出てくる。土壌のEC値(窒素量)が適正值内で活動期の葉艶が良いと秋の美しい紅葉に繋がる。

回答協力：埼玉県 ハギワラ樹木研究所 萩原俊廣氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中！
 日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会です。ご自由にお寄せ下さい。
 下記の質問へのご回答を広く募集中です！ご回答者には寸志を差し上げております。
8月号質問 → 「客土を全く入れていない砂地(山砂)に寄せ植えされているサツキがウメゴケで株全体が真っ白になって、枯れている株もあります。時期的に掘上げて客土することが出来ません。客土に代わるウメゴケ対策を教えてください」
 回答〆切7月25日

※植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局 緑化通信担当 (kawamura@ueki.or.jp) までお寄せください。

地方かわら版

「昨年を振り返って」

関東・甲信越ブロック茨城県支部
郡司 寛之
(八進緑産株式会社)

地方かわら版への寄稿にあたり、青年部茨城支部の活動報告をこのことですが、最近では「コレ」といったトピックもない為、独断と偏見による支部会員の紹介をさせて頂いたたく思います。読んで下さった方がこれをきっかけに総会などで茨城支部と交流するきっかけになればと思います。先ず支部長ですが、岡野種苗園、岡野裕行支部長。岡野氏はその鋭い感性と物言いでご存知の方も多いと思いますが、その歯に衣を着せぬ発言はもはや天衣無縫の境地。支部長として強烈なリーダーシップで支部をまとめ上げる。「茨城に岡

野あり」全国ではそう噂されていると聞くが間違いではあるまい。
 次にブロック役員であるグリーンセンター中村園芸の中村氏。世界中を渡り歩いた経験があり、業界では珍しいバイリンガル。日本に収まらないその行動力と凡人には想像もつかない高い視座。そこから常に新しい発想を生み続けている。次世代のリーダー。
 そして、全国幹事の八進緑産の郡司寛之。細々と植木の生産を行っていらっしゃいます。次に関東ブロック監査の幡弁商店、幡谷氏。ほとぼるダンディズム。茨城支部の影の功労者です。

菊地農場、菊地氏。真つ赤なスポーツカーに乗る影のドン。菊地氏が白といえはカラスだつて白なのです。猿島ガーデン、大久保氏。低姿勢な物腰からは想像もつかないほどの伝説を背負う。普段はものすごくやさしいです。
 深作樹販、深作氏。不羈(ふき)自由なお人柄。意味・何の束縛もなく、自分の意のままに行動すること。自由で豪快な冗責分。経験豊かで自由な発想にいつも私達は驚かされています。定期的なスキューバダイビングに趣き、散財。しかも自前の道具一式は持参しない。将来の夢は漁師。
 井坂農園、井坂氏。茨城支部の司令塔。茨城支部が常軌を逸することなく体裁を保っていられるのはひとえに井坂氏がいるからです。でも最近ゴルフが不調気味。田崎農場田崎氏。現在婚活中。皆様よろしくお願ひします。
 荒井苗木園、荒井氏。何事にもストイック。いつも「若さ」を売りにしているが、既にアラサーである事に本人は気付いていない。口癖は「でも」。
 為貝種苗園、為貝氏。一説によるとお祭りに命をかける漢。着信音がお囃子。鈴木緑化、鈴木氏。茨城

支部最年少。若き風。常に斜に構えているが、人当たりの良い爽やかな若人。茨城支部の歓迎会で早々に「駅」と「タンカー」というキーワードで伝説を作った人生の達人。
 定松園、小松崎氏。一年前くらいに結婚。準新婚生活中。
 このように個性豊かな人材が集まっています。勿論お酒を酌み交わせば貴方の歴史のページに刻まれる思い出ができること間違いなし。そんな茨城支部青年部をよろしくお願ひします。尚、誇張して書いた部分もございますが戯言という事で平にご容赦願ひします。

お知らせ

植生アドバイザー育成講座参加者募集

このセミナーは平成15年にスタートして、同19年からは本協会と東京農業大学総合研究所・みどりの環境創造研究部会が共催して今日に至っています。植物の特性を熟知している植木の生産・流通携わる我々が、里山の自然回復工事や、都市緑化における環境設計においてプランニングの段階から適切な知識を駆使して日常業務にその内容を提案することを目的として、そのための能力を段階的に習得するようにカリキュラムが組まれております。セミナーでは植生学の基礎を学んだ上に、実際に野外で植生調査を行い、そのデータから植栽計画を立案し、過去の植栽場所のモニタリングを行ったり、試験地にて植栽をして、提案できる能力を持つことによって、業界における地位向上と地域社会への貢献を目指すものです。ぜひこの機会に参加されますよう御案内申し上げます。
 コースはA、B、Cの3コースからなっており、毎年1コースを受講して3年で修了することになります。なお、本事業は、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されております。詳細は環境省HPの <http://www.env.go.jp/policy/edu/reg/> 参照下さい。

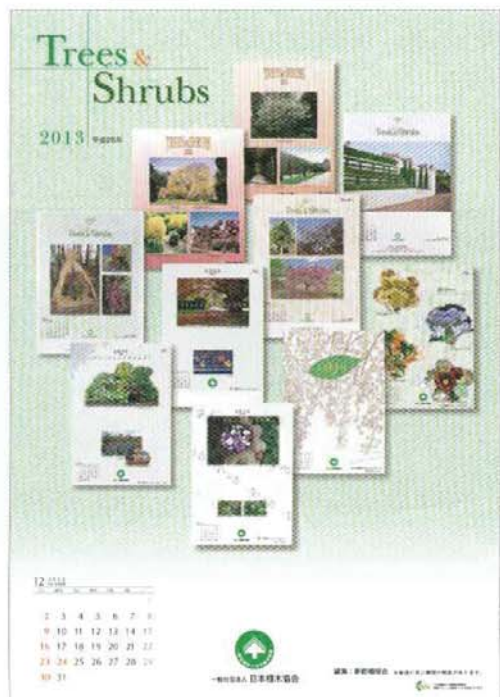
日時	平成24年8月29日(水)～9月1日(土)
	A、B、Cコース共に同日開催
場所	群馬県利根郡川場村 世田谷区民健康村
講師	東京農業大学 教授 鈴木伸一氏 東京農業大学 教授 中村幸人氏 東京農業大学 准教授 福永健司氏 ほか
費用	日本植木協会員 53,000円 その他の方 58,000円

「25年版協会オリジナルカレンダー」申込み開始！

平成11年に発行開始したカレンダーも、今回で15回目の発行です。
特徴：15回を記念し、表紙では過去10年のカレンダー表紙を配したデザイン。各ページで画像と共に、樹木解説文がご覧頂けます。
価格：330円/1部(最小ロット10部、別途送料)
申込締切日：8月16日(木)
 ※大口注文者への割引や名入れ等についての詳しい内容及び申込用紙はホームページをご覧ください

表紙 2つ折 B3判 (イメージ図)

7・8月 B3判 (イメージ図)

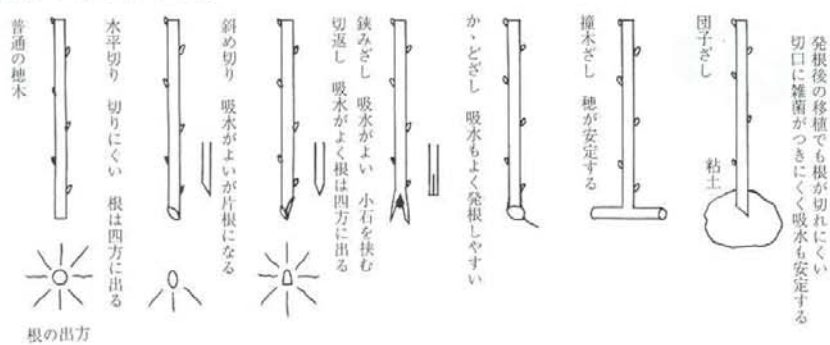


※現在製作途中につき、写真は一部変更になる場合がございます

緑化樹木の生産技術 第2集 落葉広葉樹編

(社)日本植木協会企画・編集 平成3年12月初版)より抜粋

穂木の切り方の基本



さし方の優劣



さし木の原点

1. さし木への開眼

さし木について自信を持ったのは、家業について昭和27年7月から丸3カ年間ほとんど連日さし木を繰返した結果である。当時数少ない専門家として、植木類各種を増殖しなければとの独自の判断からであった。1日1,000本のさし木を晴雨にかかわらず実行したのである。

当時としては可能な限りの方法、直さし、揚げ床、下げ床、穴さし、鉢さしまで、1cmの芽さしから2.5mの大枝まで、穂木の入手と用途に応じて行った。古い文献を読むこと、先輩を訪ねて技術を盗むこともしたが、出張のみやげは親木であり、穂木であった。

多くの体験のなかで不可能とされてきたマダケやモウソウ竹も独創した方法で成功した自信は大きい。

2. 実用的なさし木

現在のさし木は発根する生理についても解明されており、設備や資材も発達し、需要も拡大してきたので大幅に進歩をしている。扱ひ量も増加しており、密閉さしやミストさしが主流化している。販売用の苗木生育は別にして、自家生産を目的にした増殖方法としては、農家の機械貧乏と同様に見えて仕方がない。

伝統のある圃場での直さしや床さしだけでも十分に合理的で、省力化できるし、得苗の品質は極めて優秀であることを忘れてはいけない。具体的方法は次の通りである。

3. 直さし法

活着しやすく伸びる種類。アベリヤやハコネウツギ等では直接畑に畦さしで養成する。あらかじめ準備してある束さし法で行うのがよく(束さし参照)穂木の長さ3分の2ほどの深さに植付ける要領で土中に入れ、切口と土が密着するように踏圧する。畦幅は60株間は20cmで、冬には規格品として出荷できるので、秋には少し早めに根切りをしておく。

4. 揚床さし

最も普通に行う方法で、一日中よく日の当たる圃場にさし床を造るが、床幅は70~100cmにして両側通路分の土は床面にかき揚げて排水のよい揚げ床とする。落葉樹は束さし法がもっともよく、春さしにする。翌春植え出すときに掘るのでなく、冬期できるだけ早目に掘り上げて選別仮植養生しておき、春に植付けるようにする。このような春さしには通常日陰は不要であり、よく日光に当て、実質的な優良苗に仕立てる。苗木として出荷する予定のものや発根の遅い種類では、夏期寒冷紗等で光線を柔げる。

梅雨さし、夏さしでは日除けをつくって保護する。いずれの場合もさし木後は十分に灌水して、水の浸透圧で穂木の切口と土をよく密着させて水揚げを容易にするが、春さしではその後の水はほとんど不要、梅雨さし以降のものは時々水を補給する。

(川原田 林)

教えてください“みどりの雑学”(第3回)

ホームページ掲示板と緑化通信を利用し、緑育に使える「雑学」ネタをみんなで蓄積して共有しよう!

企画・編集「みどりの雑学」を集めたい某協会員

嘘みたいな聞いた話。

その1 ボルネオ島での話

1950年のボルネオ島でマラリアが大流行し、政府は薬のDDTを撒き原因の蚊を殺した。

その死骸をヤモリが食べ、そのヤモリを猫が食べ、死んだので、ネズミが異常発生し別の伝染病が発生した。政府は慌てて14000匹の猫をパラシュートで落としネズミを退治した。

また別に、DDTを撒いたお蔭でスズメバチも死に、イモムシが大量発生し野菜が被害を受け、また茅ぶき屋根を食い荒らされ、住民はトタン屋根に代えたが、スコールで不眠症に成り、仕事が捗らなくなった。



ボルネオ島

その2 八丈小島での話

東京都の離島、八丈小島では、漁業で生計を立てていたが過疎化で全島民が八丈本島やほかの土地に家畜を残し疎開して無人島と成った。

すると家畜で残っていたヤギが野生化し、島の草木を食べ禿山状態になる所が出来、山崩れなどを起こして川や海に土砂が流れ込み、プランクトンが居なくなり、漁場に魚が居なくなったので、慌てて東京都はヤギを排除して、元の立派な漁場を取り戻した。



八丈小島

その3 アフリカでの話

昔、英国の王女がアフリカ視察に来た時に、目の前でライオンがシマウマを襲い食べるのを見てショックを受け、原住民にライオンを排除する様に頼み帰国した。

原住民が一生懸命ライオンを殺した結果、シマウマが増え過ぎ、草を食べていたが足りずに根まで食べ尽くした。土地には草も生えなくなりシマウマも居なくなり樹もなくなり、砂漠に成ってしまった。



アフリカ

その4 シンガポールでの話

今は緑の多い美しい町シンガポールだが、その昔は禿山の漁村だった。そこに樹木を沢山植林して行った。

すると樹木からの水分が水蒸気と成り、周りの水分と一緒に上昇し雲を形成し、それから水滴に成り雨として降り出し、樹木をなお一層繁殖させ、今の様な緑に囲まれた美しい街を形成していった。



シンガポール

・前回の2、'楸'は「ひさぎ」と読み、植物の名はキササゲ、またはアカメガシワと言う説があるので、私は子供たちにはそのように言っている。

前回に続き、協会のホームページの掲示板などを利用し、皆様の意見、答えやその他の情報などをお寄せください。

★4~5月開催済み事業・会議等一覧★

4月	会議等名称	場所
2日	月 広報委員会	協会・会議室
4日	水 三役会	〃
5日	木 新樹種部会役員会/生産育種小委員会	〃
6日	金 学術委員会資格制度委員会	〃
10日	火 新樹種部会カレンダー編集小委員会	〃
11日	水 地域性植物適用委員会	〃
12-13日	庭園樹部会研修会	兵庫県無量壽寺
13日	金 新樹種部会推薦委員会	協会・会議室
	経営委員会	〃
17日	火 青年部会・幹事会	〃
	新樹種部会・20周年記念準備/カレンダー編集委員会	シナリオ会館
18日	水 情報検討委員会	協会・会議室
19日	木 緑育出前授業実行委員会	〃
	新樹種部会・20周年記念準備委員会	〃
25日	水 日本列島植木植物園運営委員会	〃
5月	会議等名称	場所
1日	火 新樹種部会・カレンダー編集/20周年記念事業実行委員	協会・会議室
8日	火 災害復旧樹種検討委員会	〃
9日	水 資格制度委員会/資格認定委員会	〃
	生産数量調査入力説明会(中部ブロック)	愛知県
11日	金 コンテナ部会・流通委員会	協会・会議室
16日	水 新樹種部会・監査	シナリオ会館
17日	木 新樹種部会カレンダー編集小委員会	協会・会議室
18日	金 ロジック役員会	〃

★(社)日本植木協会ホームページ★

【会員限定情報】← 閲覧するにはパスワードが必要です。会議報告随時更新中。掲示板コーナーに、疑問やご意見などお気軽にご投稿ください。

【トピックス】

- 2012/5/29 日本列島植木植物園春の視察研修会(アジサイ視察)6月20日参加者募集!
- 2012/5/29 愛知・岐阜支部会員社団をめぐるコンテナ部会・国内研修会(7/10-11)参加者募集!
- 2012/5/25 『樹木識別のポイント』講習会の参加者を募集しています。この講習会は、造園CPDプログラム(単位:3.0)に認定されています。
- 2012/5/25 『環境緑化樹木識別検定試験』受験者を募集しています
- 2012/5/15 植生アドバイザー育成講座募集のお知らせ
- 2012/5/8 新樹種部会による「春薫るガーデン展」in 国営武蔵丘陵森林公園・都市緑化植物園(〜6/30)

第二十二回森と花の祭典 「みどりの感謝祭」式典

秋篠宮同妃両殿下を迎え東京・日比谷公園で開催



名誉総裁秋篠宮殿下 同妃殿下

「みどりの豊かな緑」を大会テーマとして東京・日比谷公園で開催される各種緑化行事の締めくくりとして、健全な青少年の育成や地球温暖化防止、生物多様性にも資する緑化運動の推進を目的として五月十二日(出)に「第二十二回森と花の祭典」が、感謝祭が「育てよう未来へつなぐ」のテーマで、市民への「緑と花のプレゼント」が、小音楽堂前広場に、これのき広場で、十二

日、十三日の両日開催され、多くの参加者で賑わった。

◇ 昨年は、東日本大震災の影響で開催中止となったため、今年の式典は二年ぶりの開催。

名誉総裁である秋篠宮殿下、「緑は潤いのある生活環境をもたらす、生物多様性保全という点でも、後世に引き継いで行くべきものです。そのためには、一人が森林・みどり・花とふれあい、体感することが必要です。この式典を機に、多くの人が身近な、みどりに触れ、緑化活動の輪が更に広がることを期待します。」とお言葉を述べられた。

また今年度は、東日本大震災復興緑化用苗木の贈呈が行われ、代表で宮城県深谷小学校みどりの少年団に苗木「ケヤキ」の苗木が手渡され、岩手県、福島県には苗木の目録を贈呈した。

引き続き、緑化協力団体の代表に対し苗木と花の特別贈呈が行われた。使用された樹種は前回受賞者が属する地方の県木と、日本フラワーオブサイヤール2010・鉢物部門・ベストフラワー(優秀賞)、ニューバリー特別賞を受賞したアジサイ、舞姫の二種。

その後、山火事予防ポスター用原画入賞四作品の表彰、緑の少年団代表(鳥取県南部町みどりの少年団)による「誓いのことば」、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都

連盟代表による閉会宣言で式典の幕を閉じた。式典終了後、東京都文京区立青柳小学校合唱団による合唱が会場に流れる中、秋篠宮同妃両殿下が、会場をまわられ参加者から花束をお受け取りになられ、しばし会話を交わされた。

会場をまわり、みどりの文化賞受賞者の佐野藤右衛門氏および富山和子氏とお言葉を交わされる秋篠宮同妃両殿下

「みどりの文化賞」は、緑化活動に貢献した個人や団体に贈られる。今年度は、東京都文京区立青柳小学校合唱団、鳥取県南部町みどりの少年団、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都

▽新樹種部会・退会
飯田文雄様(神奈川県)
飯田園芸(飯田芳一氏)
平成二十四年六月十日没
享年八十八歳

▽代表者変更
鈴木信次郎様(神奈川県)
鈴木農園
平成二十四年五月九日没
享年六十二歳

▽生駒植木(神奈川県)
生駒 順

▽吉岡廣楽園(福岡県)
新0943-7209
06

▽計報
堺光正様(東京都)
堺園(堺喜代司氏)
平成二十四年六月六日没
享年八十八歳

▽有竹本園(鳥取県)
竹本祐子

▽村松英己様(静岡県)
村松英己様(静岡県)
村松守道氏(静岡県)
平成二十四年五月十二日没
享年七十八歳

▽梶村トシカ様(福岡県)
梶村トシカ様(福岡県)
和男氏(福岡県)
平成二十四年五月二十八日没
享年七十四歳

第六十三回 全国植樹祭やまぐち2012

天皇・皇后両陛下ご臨席のもと 五月二十七日に山口県で開催



お手植えされる天皇陛下



お手植えされる皇后陛下

昭和二十五年に始まった「全国植樹祭」は今年で六十三回目となり、五月二十七日に天皇、皇后両陛下をお迎えし、山口県で開催された。本協会では水城清志会長が招待者として記念式典に参加した。

全国植樹祭は「国民の森林に対する愛情を培うとともに、国土の保全、森林資源の確保、環境緑化の推進に寄与すること」を目的として、国土緑化運動の中心的な全国行事として毎年開催されている。本植樹祭の主催は(公社)国土緑化推進機構と山口県。

「育む いのち 彩りの森・光る海・碧い空 燦めきの発進」を大会テーマに、山口県山口市阿知須にある海近くの会場「山口きらら博記念公園」をメインに開催され、両陛下をはじめ全国からおおよそ一万人が式典に参加した。

式典では、東日本大震災復興支援として、津波で流失した海岸線の早期再生支援のため、山口県知事より東北三県(岩手・宮城・福島)代表者に、山口県で生産した抵抗性クロマツ(きららマツ)など海岸林を代表する緑化樹木が贈呈された。

記念式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え及びお手播きが行われた。いずれも山口県の歴史や文化、日常生活との関りが深く、海浜部の会場特性を考慮した樹種が選定された。

式典は、(公社)国土緑化推進機構理事長の大会宣言、次期開催県である鳥取県知事の挨拶(リレーセレモニー)、最後に山口県議会議長の閉会のことをもって滞りなく終了した。

「ステージ」、皇后陛下のお手植えはクロマツ(抵抗性マツ)、ヤブツバキ、ナツミカンで、地元「緑の少年隊」の子どもたちと一緒にお手植えされた。

お手播きの樹種は、天皇陛下がヒノキ、イチイガシ、皇后陛下がスギ(少花粉スギ)、イロハモミジであった。

「育てよう未来へつなぐ」のテーマで、市民への「緑と花のプレゼント」が、小音楽堂前広場に、これのき広場で、十二

引き続き、緑化協力団体の代表に対し苗木と花の特別贈呈が行われた。使用された樹種は前回受賞者が属する地方の県木と、日本フラワーオブサイヤール2010・鉢物部門・ベストフラワー(優秀賞)、ニューバリー特別賞を受賞したアジサイ、舞姫の二種。

その後、山火事予防ポスター用原画入賞四作品の表彰、緑の少年団代表(鳥取県南部町みどりの少年団)による「誓いのことば」、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都

連盟代表による閉会宣言で式典の幕を閉じた。式典終了後、東京都文京区立青柳小学校合唱団による合唱が会場に流れる中、秋篠宮同妃両殿下が、会場をまわられ参加者から花束をお受け取りになられ、しばし会話を交わされた。

会場をまわり、みどりの文化賞受賞者の佐野藤右衛門氏および富山和子氏とお言葉を交わされる秋篠宮同妃両殿下

「みどりの文化賞」は、緑化活動に貢献した個人や団体に贈られる。今年度は、東京都文京区立青柳小学校合唱団、鳥取県南部町みどりの少年団、日本ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京都

▽新樹種部会・退会
飯田文雄様(神奈川県)
飯田園芸(飯田芳一氏)
平成二十四年六月十日没
享年八十八歳

▽代表者変更
鈴木信次郎様(神奈川県)
鈴木農園
平成二十四年五月九日没
享年六十二歳

▽生駒植木(神奈川県)
生駒 順

▽吉岡廣楽園(福岡県)
新0943-7209
06

▽計報
堺光正様(東京都)
堺園(堺喜代司氏)
平成二十四年六月六日没
享年八十八歳

▽有竹本園(鳥取県)
竹本祐子

職員の主な業務分掌

平成24年5月1日現在

職員	立石	郡司	大平	河村	斉藤
理事会	◎				
常務理事会	◎				
総務委員会	◎				
財務委員会	◎				
広報委員会		○		◎	
学術委員会			◎		
経営委員会		◎			
日本列島植木植物園運営委員会				◎	
地域性植物適用委員会			◎	◎	
資格制度委員会			◎	◎	
コンテナ部会					◎
新樹種部会				◎	
庭園樹部会		◎			
ロジック部会		◎			
青年部会		◎			
緑育出前授業実行委員会					◎
総務					◎
経理	○				

事務局からのお知らせ

新規採用職員紹介

平成二十四年五月一日採用
昭和二十四年十二月三日
生、東京都出身
千葉大学園芸学部園芸学科
卒業



「五月一日付で採用された大平政喜(おおひらまさき)です。三十一年度の会社勤めをひと区切りして、再チャレンジです。」

主な資格は一級造園施工管理技士です。大学で学んだ知識を生かして、(社)日本植木協会ならびに社団の皆様の発展のお役にたつよう努力して貢献したいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。」

★五月一日からの職員の名な業務分掌は左表のとおり